



# 憂魂

# 高倉健

国書刊行会

横尾忠則編

定価：15750円(税込)  
 体裁・造本：B5変型・上製・美麗函入  
 モノクロ370頁(内カラー8頁)  
 2009年5月下旬刊行予定  
 ISBN 978-4-336-05121-9

国書刊行会  
 〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15  
 Tel.03-5970-7421 Fax.03-5970-7427  
<http://www.kokusho.co.jp>



**高倉健**  
 1931年福岡県生まれ。56年『電光空手打ち』でデビュー後、『日本侠客伝』『昭和残侠传』『網走番外地』などのシリーズで爆発的な人気を得る。近作に『ホテル』『単騎、千里を走る。』がある。98年紫綬褒章受章。日本を代表する俳優である。

**横尾忠則**  
 1936年兵庫県生まれ。美術家。72年ニューヨーク近代美術館で個展。世界各国のビエンナーレに出品し、パリのカルティエ現代美術財団、金沢21世紀美術館など国内外の美術館で個展が続く。01年紫綬褒章、08年泉鏡花文学賞など多数受賞。

**本書の特色**

刊行後入手困難となっていた  
 原本を横尾忠則監修により復刻。  
 最新の高精度印刷技術により  
 収録写真を原本より鮮やかに再現、  
 さらに並製を上製にし、美麗貼函に  
 おさめた豪華愛蔵版仕様。  
 附録として横尾忠則による当時のあとがき、  
 制作ノート、書き下ろしエッセイを  
 収録したリーフレットを付す。

刊行記念特集上映<孤高のスタア 高倉健> 池袋・新文芸坐にて5月28日～6月10日に開催!

上映予定作品 『日本侠客伝』『昭和残侠传』『網走番外地』シリーズ、『千姫と秀頼』『花と嵐とギャング』『いれずみ突撃隊』『二・二六事件 脱出』『人生劇場飛車角』『ならず者』『荒野の渡世人』『新幹線大爆破』『山口組三代目』『ジャコ万と鉄』『冬の華』『八甲田山』『遙かなる山の呼び声』『鉄道員<ぼっぼや>』などを二本立て上映 問い合わせ：新文芸坐 03(3971)9422 入場料金：一般1300円、学生1200円、シニア1000円

帖合・書店印

申  
込  
書

国書刊行会『憂魂、高倉健』を購入します。

お名前 \_\_\_\_\_

ご住所 \_\_\_\_\_

お電話 \_\_\_\_\_

※必要事項をご記入のうえ、書店へお渡ください。



今、私はこの〈高倉健〉の写真集をまとめながら、ある一つの不安と不信に悩まされている。というのも、この写真集が世に出た場合、私自身の作品（実はいかなる場合も作品という呼び方はしたくないのだが便宜上作品と呼ぶことにする）として、行為化され、私の作品系列に組み入れられることは必至である。その場合、この作品は趣味であってはならないはずだ。あくまで思想化されたものでなければならない。ところが、私は〈高倉健〉という個人の俳優を材料として思想化することは到底出来ない。私は何百万人分の一の〈高倉健〉のただ単なるファンの一にもかわからず、氏が私に示してくださった親切や好意は決して氏を映画

の主人公〈高倉健〉（例えば、新田秀次郎、橘真一）として、彼を斬ったり張った映画の主品の素材には出来ないのである。どうしても、私にはこの映画の主人公に人間〈高倉健〉が重層して、虚像と実像を区別して知覚することは出来ないのである。東映風というと私は高倉健氏に義理があるのである。

私が実像とする〈高倉健〉に惚れた弱味ということかも知れない。だからこの写真集は、私の作品というより、〈高倉健〉に対する恋文といった方が正しいかも知れない。

横尾忠則

『高倉健賛江』天声出版 あとがきより 1969年

一九七一年に刊行されたものの  
諸事情により書店店頭に  
並ぶことのなかった〈幻の書〉  
横尾忠則編『憂魂、高倉健』が  
リニューアル完全版として  
ついに甦る！



# 横尾忠則 高倉健

遠藤努撮影による〈俳優・高倉健〉のスター写真を中心に貴重なプライベート写真やスナップも含めて横尾忠則が編集した圧巻の370ページ。

さらに細江英公、立木義浩、森山大道、石黒健治ほか豪華写真家の競演による作品、横尾忠則による高倉健インタビュー・年譜なども収録した、高倉健の写真集としては空前にして絶後の内容。  
(文中敬称略)